

MEX

Newsletter

Matsumoto International Exchange Committee

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

グリンデルワルト村を 公式訪問しました



鏡開きの様子 左から松本市議会太田議長ご夫妻、
菅谷市長、シュラッピー村長、前田駐スイス日本大使ご夫妻

7月3日(木)〜10日(木)まで姉妹都市スイス・ベルン州グリンデルワルト村を公式訪問しました。2014年は、日本とスイスが国交を樹立して150周年を迎え、これを記念して松本市、グリンデルワルト村から相互に訪問が行われました。

訪問団は、公募の市民の

皆さんを含め41名と、節目の年に相応しいものとなりました。村には歓迎の旗が掲げられ、村を挙げての歓迎に一同感激しました。



今回の公式訪問では、松本市を紹介するイベントをグリンデルワルト駅前で開催しました。4日のイベントの開会式には、前田駐スイス日本大使ご夫妻をお招きし村長、市長、松本市議会議長とともに鏡開きを行いました。

また、今回の訪問に参加した市民の皆さんもアルプホルンの演奏会を行い、ス

イス気分を大いに盛り上げました。

3日間の紹介イベントでは松本市の観光スポットや物産の紹介のほか、けん玉や折り紙といった日本の伝統的玩具の体験、松本に縁のある映画を上映するなど、グリンデルワルト村を訪れる世界各国の皆さんにも松本そして日本の魅力を紹介することができました。

最終日6日の夕方には、イベントの閉会式を行い、住民や観光客の皆さんと、



輪になって松本ぼんぼんを踊り、別れを惜しましました。



グリンデルワルト村は世界有数の山岳観光地であり、訪れる観光客の皆さんは、山に愛着を持っており、高地や乗鞍高原など松本市の豊かな自然に魅力を感じている様子でした。

グリンデルワルト村での滞在を終え、訪問団は、マッターホルンの麓のまち、ツェルマット村を訪れました。バスと氷河急行に乗り、雨の中到着した訪問団を観光局のルッケン局長が歓迎してくださいました。翌日

は、登山列車でゴルナーグ
ラート展望台へ登りました。
夏の訪問でしたが標高が高
くなるにつれ、雨が雪へと
変わりました。今回の訪問
では、残念ながら2日間の
滞在中マッターホルンを望
む事はできませんでした。



市長はグリンデルワルト
村でのイベント終了後、訪
問団と別れ、次世代交通や
環境政策の先進地であり、
これまでの視察等で松本市
と縁のあるドイツ・フライ
ブルク市を訪問しました。
フライブルク市はグリンデ
ルワルト村から、国際特急
列車で約3時間の距離で
す。



フライブルク市では、迎
賓館でゲルダ副市長とお会
いし、今後の交流について
意見を交わしました。その
後、路面電車など次世代交
通や環境に配慮した住宅団
地、温泉療養施設などを視
察しました。



訪問団の主な日程

(7月3日(木)～10日(木))

- 第1日 松本発、グリンデルワルト村着
- 第2日 市紹介イベント開会式、公式歓迎会
- 第3日 市紹介イベント、日本映画上映会
- 第4日 記念イベント閉会式
- 第5日 ツエルマット村へ(市長はフライブルク市へ)
- 第6日 登山列車でゴルナーグラートへ
- 第7日 チューリッヒ発、アムステルダム経由
- 第8日 松本着

グリンデルワルト村から
訪問団をお迎えしました



9月30日(火)～10月4
日(土)までグリンデルワ
ルト村から、エマニユエル・
シュラッピー村長を団長に
31名が松本市を公式訪問し
ました。一行は前泊地の箱
根から、池田町で酒蔵を見
学し、夕方松本に到着しま

した。国宝松本城本丸庭園
を会場に歓迎式典を開催
し、古城太鼓の迫力ある演
奏で皆さんをお迎えしまし
た。



歓迎式典の後、交流委員
会主催の歓迎夕食会を市内
の居酒屋で催しました。3
部会長をはじめ、会員の皆
さんやこれまで交流に携
わった皆さんが集まり、遠
方からの友人の来訪を喜び、
歌を歌い合うなど、楽しい
時間を過ごしました。



翌10月1日は、表敬訪問
が行われ、グリンデルワ
ルト村へ姉妹提携の記念のプ
レートが贈呈されました。
このプレートは、グリンデ



ルワルト村の駅前を設置される予定です。

表敬訪問の後、市役所本庁舎前庭で、友情の証として菩提樹を植樹しました。



散策や本丸庭園に設けられた茶席を楽しみました。



その後、松本城公園で、訪問団の皆さんによる「スイス紹介イベント「スイスの日」を開催しました。ヨードルやアルプホルンの演奏のほか、グリンデルワルト村のチーズやスイスワインを会場に訪れた多くの皆さんに振る舞い、共に踊るなど村の魅力を紹介しました。



その後市主催の公式歓迎夕食会を、盛大に開催しました。駐日スイス大使館のピーター・ネルソン公使をお招きし、また、蟻ヶ崎高校書道部による書が飾られ、歓迎の雰囲気を感じました。



出席者全員でエーデルワイスを歌い、最後は輪になって踊り、姉妹都市の絆を確かめました。

翌2日は、交流の原点ともいえる乗鞍へ向かい、紅葉を楽しみ、安曇地区の皆さんと交流会を行いました。スイスの紅葉は黄色が一般

的で、赤色は珍しいと写真におさめていました。

翌3日は、上高地でハイキングをし、夜はグリンデルワルトクラブの総会が行われました。

4日の最終日は、安曇支所を会場に地区の皆さんや子どもたちと交流会をしました。子どもたちのアルプホルンの演奏に、訪問団はヨードルの歌声で応えてくれました。最後は、再会を誓い、訪問団一行は松本を出発し、次の訪問地妙高へ向かいました。2015年には、中学生のホームステイ事業が予定されています。



訪問団の主な日程

(9月30日(火)～10月4日(土))

- 第1日 松本着、歓迎式典、歓迎夕食会
- 第2日 表敬訪問、記念植樹、スイス紹介イベント、公式歓迎夕食会
- 第3日 乗鞍紅葉狩り、歓迎昼食会、保育園訪問
- 第4日 上高地ハイキング
- 第5日 安曇地区の子どもたちとの交流、山岳関係者宅訪問、妙高へ

駐日中国公使を

お迎えしました



9月30日(火) 韓志強駐日中国公使ほか、7名が松本市を表敬訪問しました。

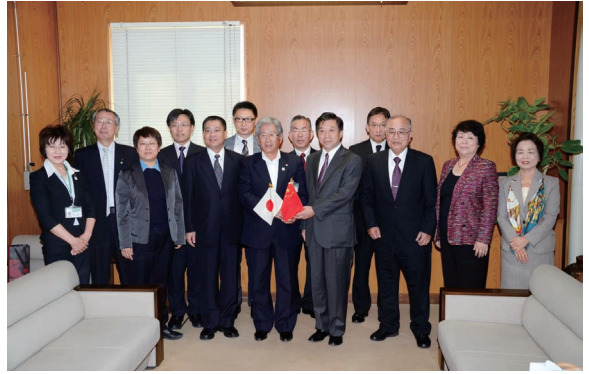
一行は、相澤病院の陽子線治療センター開設記念式典に合わせ来松し、中国に友好都市をもつ松本市を表敬訪問したものです。

駐日中国公使ほか一行

9月30日(火)

1	韓志強	駐日中国公使
2	黄挺	公使秘書
3	張聚祥	中国人民対外友好協会 主任
4	全德利	(同上) 副主任
5	殷蓮玉	中国対外友好合作服務中心高級顧問
6	武内英昭	(同上) 顧問
7	謝宏宇	中国国際放送局東京支局 支局長

(7名)



駐日ネパール大使、
カトマンズ市幹部職員を
お迎えしました



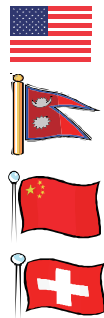
2014年は松本市とカトマンズ市が姉妹提携を結んで、25年目を迎えました。これを記念し、マダン・クマール・バッタライ駐日ネパール大使、シャンタ・ラム・ポカレルカトマンズ市副市長代行ほか幹部職員や小嶋元駐日ネパール日本大使が10月18日(土)～19日(日)の2日間、松本市にお越しになりました。

一行は、NPO法人松本ヒマラヤ友好会の招きにより来日し、同会の創立25周年記念式典に出席しました。翌日はアルプス公園から、山々を眺め、その後岡田農園でリングゴ狩りを楽しみました。浅間温泉で松本市主催の歓迎昼食会を開催して、提携25年の振り返りと今後

の交流拡大について、意見を交わしました。



第25回 信濃の国 楽市楽座に出展しました



松本市海外都市交流委員会では、姉妹・友好都市を市民の皆様幅広くお知らせするため、楽市楽座へ出展をしています。本年度は、5回目の出展となりました。2014年は日本とスイスが国交を樹立して150周年を迎え、相互訪問等の

交流が行われたことから、スイスチョコレートの試食販売をメインに、4姉妹・友好都市を紹介しました。10月18日(土)～19日(日)の2日間は、天候に恵まれ、多くの方々が来場しました。ブースには、4姉妹・友好都市の紹介パネルの他、グリンデルワルト村との相互訪問の写真を展示し、皆様にご覧いただきました。



グリンデルワルト村村長 が松本を訪れました



11月29日(土)～12月2日(火)の4日間、グリンデルワルト村から村長、観光局長、日本語観光案内所の安東夫妻が松本市を訪れました。

一行は、まつもと市民芸術館で開催された山岳フォーラムに出席するため、来松したもので、安東一郎氏が記念講演を行いました。展示ブースではチーズの試食やスイスワインの試飲など村の魅力を紹介しました。



フォーラムの翌日、一行は乗鞍を訪れ、ブルーノ観光局長が講演を行いました。観光局長は、スキー講師とし

グリンデルワルト村村長一行

(11月11日(月)~12日(火))

- 1 エマニュエル・シユラツピー 村長
- 2 フルーノ・ハウスヴィルト 観光局 局長
- 3 安東 一郎 日本語観光案内所 所長
- 4 安東 康代 日本語観光案内所 副所長 (4名)



て乗鞍に滞在した経験があり、乗鞍スキースクールが開催した歓迎会では、思い出話が尽きないようでした。



松本市海外都市交流委員会の皆様、はじめまして。ドイツのミュンヘン市に在住しております小野敦子と申します。昨年、半年間松本市民として生活する機会に恵まれたご縁で、交流委員会のメンバーに加えていただくことになりました。



新会員のご紹介
ドイツからの便り

ドイツ、特に南ドイツのバイエルン州は後方にアルプスを控え、自然の大変美しい地域です。松本市とも気候や環境が共通する部分も多く、将来的に何らかの交流が実現できないものかといういろいろと考えをめぐらせているところです。まずはその第一歩といたしまして、皆様に親しみを覚えていただくべく、こちらの様子を少しレポートしたいと思います。

新年が明ければ、日本では何をすることも「〇〇初め」と心を新たにし、清々しい気分になるものですが、こちらではクリスマスが終われば、新しい年の始まりをゆつくり味わう暇もなく、すぐにカーニバルの季節がやってきます。家庭で用済みとなったもみの木(クリスマスツリーです)が、まだ公園の片隅などにうずたかく積み上げられたまま、市が回収してくれるのを



南ドイツやオーストリアではカーニバルのことをファッシングといい、クラフエンという揚げ菓子(餡の代わりにクリームやジャムなどを入れた餡ドーナツのようなもの)を食べます。



待っているのに、町は少しずつカーニバル気分が盛り上がってきます。



本番直前の木曜日はヴァイパーファッシング(女たちのカーニバル)と呼ばれ、

ケルンなどライン川沿いの町々に比べるとかなり控えめですが、それでもカーニバルの本番(今年は2月16日、17日)が近づくと、連日連夜ダンスパーティーが開かれ、お祭り好きには堪らない時期です。正装した男女が集う本格的な舞踏会から、民族衣装で参加するフォークダンスパーティー、趣向を凝らした仮装パーティー、熱気あふれるラテン系パーティーまで、内容は実に様々。

総会



スーツ姿の男性たちは要注目です。なんとこの日は女性がお許されているのです。過去には大切なネクタイを切られた男性が損害賠償訴訟を起こして勝訴したこともあるそうですが、これはちよつと野暮ですよ。この日は用心してノーネクタイか安物のネクタイをつけるに限りません。

さて、こうして散々騒いだカーニバルも最終日の夜0時になると突然ダンス禁止となります。翌日は「灰の水曜日」とよばれる日で、カトリックではこの日からイースターまでが一応断食期間となるのです。実際に断食する人は今ではほとんどいませんし、断食期間だからこそ、普段よりも強めのビールを醸造して飲む、といういかにもバイエルンらしい習慣もあるのですが、これはまた別の機会にご紹介したいと思います。

松本市海外都市交流委員会 菅谷昭



(会長あいさつ)
松本市長 菅谷 昭

松本市海外都市交流委員会 菅谷昭でございます。

す。本日はご多忙のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

5月21日(水)にホテル花月で定期総会を開催しました。当日は多くの会員の皆様に参加され、盛大な会となりました。事務局から、26年度の事業計画等が示され、賛成多数で承認されました。総会後には懇親会を開催し、会員の皆様の相互の交流が盛大に行われました。

3姉妹・友好都市提携委員会を統合し、海外都市交流委員会が発足して早2年が経過したわけでござい

ますが、会員の皆様のおかげをもちまして市民の皆様と海外都市交流事業を遂行することができ、嬉しく思っております。松本市の海外交流にご理解とご協力をいただいております皆様にご利用をお借りしまして御礼申し上げます。

本会といたしましては、引き続き地道な交流を進めていくことが肝要と考えております。

本年度は日本とスイスが国交を樹立して150周年を迎え、7月にはグリーンデルワルト村への公式訪問を予定しております。また9月にはグリーンデルワルト村からも訪問団が松本にお越しになるとのことで、準備を進めております。会員の皆様におかれましては、是非ともこの節目の年の事業にご参加くださいますようお願い申し上げます。

本年度も会員の皆様と共に交流の歩みを一歩ずつ進めてまいりたいと思っております。皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。会長のあいさつとさせていただきます。

松本市海外都市交流委員会 菅谷昭でございますが、残念な部分もありましたが、



お知らせ

1. 会費納入のお願い

海外都市交流委員会は会員の皆さんの会費で運営されています。今年度の会費のお支払いがお済みでない方は、お早めにお願いたします。振込先は次のとおりです。

八十二銀行

松本市役所出張所

(普通) 103120

松本市海外都市交流委員会

2. 新規会員募集中!

松本市海外都市交流委員会では新たに入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方はどなたでも歓迎いたします。年会費は、個人2千円、団体1万円。お申し込みは事務局(松本市広報国際課 ☎34-3300)までお願いいたします。